

大館地区統合高等学校及び県北地区定時制基幹校の設置場所について

高校教育課

大館地区統合高等学校及び県北地区定時制基幹校の設置場所については、これまで、県有地の活用を基本とする方針をもとに、大館市からの要望や統合校関係者による協議会での意見を踏まえ、教育庁内において包括的に検討を重ねてきた。

統合対象3校（大館桂高等学校、大館高等学校、大館工業高等学校）の職員からなる基本構想案検討委員会では、大館鳳鳴高等学校、大館国際情報学院高等学校に匹敵する魅力を持ち、多くの生徒から希望される夢のある学校を目標に、統合高等学校の基本構想の準備を進めている。また、定時制基幹校は昼間部・夜間部の二部制をとり、小中学生等の不登校児童生徒の学びの場「スペース・イオおおだて」も併設するなど、充実した教育機能を持ち、生徒の多様な学習ニーズに応えることのできる学校を目指している。

このため、より良い教育環境を実現するという立場から、これまでの検討を総合的に勘案し、次のとおり設置場所を決定する。

○大館地区統合高等学校

- ・「旧大館商業高等学校用地」（5.0万㎡）に実習棟を活用して校舎を新築する
- ・「大館桂高等学校用地」（4.4万㎡）のグラウンド部分（2.8万㎡）を活用する

○県北地区定時制基幹校

- ・「現大館高等学校用地」（4.6万㎡）の既存校舎（H3年7月～H4年3月建築）を継続活用する

※ 大館工業高等学校校舎は解体する。

※ 大館桂高等学校校舎・体育館については、大館市が校舎等を使用する計画があれば活用は可能。処置方法が決定するまでは閉鎖する。

【参考】 大館市からの要望書「大館地区県立総合制高等学校設置候補地に関することについて」（平成19年10月26日）で示された候補地

- 大館高等学校と北側隣接地約39,300㎡
- 旧大館商業高等学校と北東下隣接地約42,000㎡
- 大館市片山字大通地内の新規取得用地約99,000㎡

